

会 告 No.2

2022

◇通知・案内事項

- 化学工学会第87年会 参加募集…………… 本号3ページ
○第24回化学工学会学生発表会 概要…………… 本号7ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2022)	(2023)
◇年会	3/16～18(神戸大学)	
◇秋季大会	9/14～16(信州大学)	
◇支部大会		
◇学生発表会	3/5(オンライン)	

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2022年2月 February			
3～4	2021年度粉体技術者養成講座 第6回【ろ過】(大阪府)		6号9
8	2021年度コンビナート講習会「プラント設備への新たなGHG削減技術の適用」 (東京都／オンライン)		1号7
8	第121回東海技術サロン(CSTCフォーラム)「世界のCO ₂ 削減技術動向と日本の課題」 (愛知県／オンライン)		1号8
22	神奈川地区見学講演会「近づきつつある水素社会の展望と水素の大量輸送貯蔵技術」 (神奈川県)		1号7
24	オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編 第2回(2/24, 25, 28) (オンライン版)	2月18日(金) 9:00	12号6
24～25	2021年度粉体技術者養成講座 第7回【粉碎】(大阪府)		6号9
2022年3月 March			
2	最近の化学工学講習会70「進化するファインバブル技術と応用展開」(3/2, 3/7)(オンライン)		11号12
4	第22回プラント保全研究会(広島県)	2月11日(金)	本号7
5	第24回化学工学会学生発表会(オンライン)		本号7
7	第18回キンカ高分子化学研修コース(オンライン)		1号8
16～18	化学工学会第87年会(兵庫県)		本号3
28	Chemical-Energy-Car Competition 2022(オンライン)	2月28日(月)	本号7
2022年9月 September			
14～16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
3月16～18日	International Chemical Engineering Symposia 2022 (ICHES 2022)		1号6
6月19～23日	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
6月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021(PSE 2021+)(京都府)		6号8
8月中旬で調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
第72回表面科学基礎講座 「表面・界面分析の基礎と応用」(オンライン)	1月12日～ 2日28日(水～月)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/04/detail.php?eid=00010
21-1 高分子と水・分離に関する研究会 2021年度界面動電現象研究会(オンライン)	3月4日(金)	高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) info-colloid@ml.cc.tsukuba.ac.jp https://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/water.php
第14回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム／第15回プラズマナノ科学技術国際会議 (ISPlasma2022／IC-PLANTS2022)(愛知県)	3月6～10日 (日～木)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2022@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
生産システム部門研究発表講演会2022(オンライン)	3月7～8日(月～火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 hashiguchi@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/msd/html/99/kouen22-6.html
日本膜学会講演会～二酸化炭素分離膜開発の最新動向と今後の展望～(オンライン)	3月10日(木)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://www.maku-jp.org/international/kouenkai.html
第7回理論応用力学シンポジウム ー力学のさらなる発展に向けてー(東京都)	3月11日(金)	日本学術会議 理論応用力学分科会	03-5841-6286 takagi@mech.t.u-tokyo.ac.jp https://www.scj.go.jp/ja/event/index.html
表面科学セミナー2022(実践編)(オンライン)	3月10～11日(木～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/detail.php?eid=00013
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows(オンライン)	3月15～17日 (火～木)	The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows 実行委員会	03-3259-0750 (03-3293-8254) kimura.motoaki@nihon-u.ac.jp http://www.mech.cst.nihon-u.ac.jp/ICJWSF2022/
熱で動く冷凍空調技術の基礎と応用(東京都)	3月24日(木)	日本冷凍空調学会 デシカント・吸着・吸収・化学系技術委員会	092-583-7832 (092-583-7833) tmiyazak@kyudai.jp https://www.jsrae.or.jp/info/2022/0324DEsemi.pdf
第39回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月12～13日(火～水)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp http://www.jaca-1963.or.jp/
第59回日本伝熱シンポジウム(岐阜県)	5月18～20(水～金)	公益社団法人日本伝熱学会	058-293-2532 (058-293-2532 or 2491) symp2022@htsj-conf.org https://htsj-conf.org/symp2022/index.html
第34回バイオエンジニアリング講演会(福岡県)	6月25～26日 (土～日)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7610 bioconf22@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf22/index.html
第59回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月6～8日(水～金)	(公社) 日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/

The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022) (山梨県)	11月15～18日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/
第1回鉄鉱石塊成鉄に関する国際シンポジウム／ 英語名：The 1st International Symposium on Iron Ore Agglomerates (SynOre2022) (島根県)	11月22～25日 (火～金)	一般社団法人日本 鉄鋼協会	03-6369-9995 (03-3453-1258) y-aman@issjp.com https://synore2022.com/

化学工学会第87年会 参加募集

- 会 場：(オンサイト)神戸大学 鶴甲第1キャンパス
(〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲1丁目2-1)
一部セッションで双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定です。
(オンライン)化学工学会オンライン学会サイト GOING VIRTUAL
全セッションともオンラインで参加(発表・聴講)いただけます。
- 会 期：2022年3月16日(水)～3月18日(金)
(一部セッションは、会期前日3月15日(火)から開始の予定)
- 懇 親 会：実施しません。
- 参 加 登 録 期 間：第二期 2022年2月1日(火)～2月16日(水)23:59
第三期(含む当日) 2022年2月18日(金)～3月18日(金)12:00
- 大会WebサイトURL：http://www3.scej.org/meeting/87a/
※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第87年会は、2022年3月16日(水)～18日(金)の3日間、神戸大学 鶴甲第1キャンパスおよびオンラインにて開催されます。(一部セッションで双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定です。但し新型コロナウイルス感染症の状況によっては会場変更あるいはオンライン開催に変更される可能性があります。)

本大会では、参加登録期間が三つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程でオンライン併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2022 (ICChES 2022)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。

第二期 2月1日(火)～2月16日(水)23:59まで
第三期(含む当日) 2月18日(金)～3月18日(金)12:00まで

開会式等

日時 3月16日(水)9:00～

- ◇開会挨拶
- ◇名誉会員推戴式
- ◇会長挨拶
- ◇学会賞等授賞式
- ◇学会賞受賞記念講演

企画紹介

詳細は、大会webサイトまたは次号(3号)会告をご覧ください。

学会賞等受賞記念講演

- ◇学会賞(開会式で実施)
 - ・宮原 稔氏(京都大学) 【池田亀三郎記念賞】
研究題目「計算科学に基づくナノ空間の化学工学」

- ◇研究賞(関連セッションで実施)
 - ・吉岡朋久氏(神戸大学) 【實吉雅郎記念賞】
研究題目「非平衡分子動力学法によるミクロ多孔性膜における分子輸送現象の解明とセラミック多孔膜の開発」

- ◇研究奨励賞(関連セッションで実施)
 - ・坂部淳一氏(金沢大学) 【内藤雅喜記念賞】
研究題目「多孔質アモルファスシリコン膜を用いた高容量・高安定な次世代二次電池の開発」

- 開発」
 - ・庄司衛太氏(東北大学) 【實吉雅郎記念賞】
研究題目「Cu基金融体内対流と相分離構造の関与に関する研究」
 - ・藤壇大裕氏(京都大学) 【玉置明善記念賞】
研究題目「高速かつ高選択的な水素生成反応を目指したイオン交換樹脂を前駆体とする炭素担持金属触媒開発に関する研究」
 - ・山本卓也氏(東北大学) 【内藤雅喜記念賞】
研究題目「ソノケミカルプロセス設計指針構築に向けた基礎現象解明」

- ◇技術賞(産業セッションで実施)
 - ・木村 肇氏(三菱重工業(株))、木田一哉氏(大崎クルージェン(株))
業績題目「一室二段旋回型噴流床酸素吹き石炭ガス化炉開発と166MW IGCCによる実証」

- ◇女性賞(男女共同参画委員会企画「ダイバーシティフォーラム」で実施)
 - ・篠原雅世氏(千代田化工建設(株))
業績題目「エンジニアリング会社における環境マネジメント～グローバルな環境要求を満足するために～」
 - ・宮崎あかね氏(日本女子大学)
業績題目「酸化物と金属イオンの間の固液界面反応－女子学生との共創－」

- ◇アジア国際賞(国際シンポジウムで実施)
 - ・Hsien-Yeh Chen氏(National Taiwan University)
業績題目「A Rising Star in the Field of Vapor Deposition Technology and Biomedical Applications」
 - ・Siyong Choi氏(Korea Advanced Institute of Science and Technology, KAIST)
業績題目「New Emerging Name in Interdisciplinary Research」
 - ・Serene Lock Sow Mun氏(Universiti Teknologi PETRONAS)
業績題目「Novel and Commercialized Invention」

新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、現下の情勢から、口頭セッションの一部で双方向ライブ配信を併用した「オンライン・オンサイト併用開催」で計画しております。全てのセッションについてオンラインでの参加(登壇・聴講)を可能とします。ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第87年会は、「化学工学会が主催するイベントに関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会webサイトをご確認ください。

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会

Used in Process Systems Engineering for Environmentally Friendly, Safe and Energy Efficient Industry Separation Process”

・ Jianhong Xu 氏 (Tsinghua University)

業績題目 “Outstanding Contributions to Development of Microdispersion Technology for the Chemical Engineering Process Intensification and Functional Materials Preparation”

第9回 化学工学ビジョンシンポジウム 「化学工学の未来ビジョンを考えよう」

日時：3月16日(水)午後

主催：戦略企画会議、VISION2023レビュー委員会、CSR委員会

本シンポジウムでは、前半で2023年に向けて化学工学会が目指してきたビジョンの検証と現在学会内で将来を見据えて活動している内容を紹介し、後半にはこれからの時代の化学工学が何を目指すべきかについて熱く語り合う対談企画やCSR委員会での活動を通して、学会のこれからの活動指針について考えます。

特別シンポジウム 「2050年 カーボンニュートラルへの道」

日時：3月15日(火)午後[会期前日]

主催：(公社)化学工学会、地域連携カーボンニュートラル推進委員会、戦略推進センター・次世代エネルギー社会検討委員会／CCUS研究会／社会実装学研究会

カーボンニュートラルの達成のためには、どんな社会にすべきかを検討・設計し、必要なプロセスを想定し、適切な要素技術を求めていく必要であります。化学工学会では地域産業および地域コミュニティとの連携強化により具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化の検討を進めております。第86年会のビジョンシンポジウム、第52秋季大会の特別シンポジウムに続き、今回も、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、会期前日の3月15日午後、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施いたします。

なお、会期中、各講演に対する双方向のコメントのやりとりも可能です。参加費無料の一般公開シンポジウムとなりますので、化学工学が挑む未来社会について多くのみなさまとともに語り、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献することを期待しています。

国際シンポジウム

◇Recent Researches on Material Structure Control Technology for Functional Expression

Date：Mar. 16 pm

Organization：Division of Materials and Interfaces

This is an international symposium on cutting-edge technology for material structure control and their applications. We invite Prof. Hsien-Yeh Chen of National Taiwan University who has won 2021 The SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer for the keynote speech of this symposium. We also invite domestic and foreign researchers working on the synthesis of porous organic-inorganic materials to discuss about the hierarchical structure control for functional expression. We hope this symposium will be

fruitful and contribute to discuss the recent progress in design of advanced materials for application to separation, catalytic reaction, energy devices, electronics, and so on.

◇CO₂ Separation and Utilization in Aseania 2022

Date：Mar. 16 pm

Organization：Division of Separation Processes, Division of Systems, Information and Simulation Technologies

Development of CO₂ separation technologies are accelerated around the world to eliminate CO₂ emissions by 2050. This is an international symposium for the development of membranes and membrane processes for CO₂ separation. Dr. Serene Lock Sow Mun, who have been awarded "The SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer 2021", are invited to give a plenary lecture. Researchers working on development of advanced membranes and membrane processes for CO₂ separation are also invited to discuss widely fundamentals and applications of CO₂ separation membranes. We hope this symposium will contribute to develop powerful CO₂ separation processes using membrane technology.

◇Supercritical Fluid Division 20th Anniversary International Session

Date：Mar. 16 pm, 17 am

Organization：Division of Supercritical Fluids

The Supercritical Fluid Division will hold an international session in commemoration of the 20th anniversary of the Supercritical Fluid Division by inviting overseas researchers on supercritical fluid technology. World authorities in the fields of supercritical fluids from North America and Europe will attend the session and explain the research and development trends of supercritical fluids in their countries. The session will also include presentations on the status of research and development in each field.

◇Recent Research and Development of Micro Chemical Process and Synthesis

Date：Mar. 17 am

Organization：Division of Chemical Reaction Engineering

This session focuses on research and development of micro chemical process and synthesis in recent years. We will invite Prof. Jianhong XU from Tsinghua University (2021 Winner of The SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer) and some outstanding researchers.

◇Materials Development Innovated by Fluid Flow

Date：Mar. 17

Organization：Fluid & Particle Processing Division, Division of Materials and Interfaces

For the innovative manufacturing process of highly functional materials, the utilization of fluid flow in the equipment is essential. In this symposium, the organizers welcome the contributions about the material productions with the consideration of fluid flow as well as the fluid dynamics studies for producing materials.

◇Advances in Downstream Processing of Biologics

Date：Mar. 17 pm

Organization：Division of Biochemical Engineering

Cosponsor：Asian Federation of Biotechnology

(AFOB) Bioprocess and Bioseparation Engineering Division

This symposium will focus on recent advances in downstream processing of biologics. We will discuss on current problems and future directions.

◇The Cutting-Edge Environmental Biotechnology: Challenges for Sustainable Society and Global Warming

Date：Mar. 18 am

Organization：Division of Environment, Division of Biochemical Engineering

We are facing grand challenges in the nexus of food, climate, and water. As an engineer in environmental and biochemical engineering, of importance are to transfer ground-breaking discoveries and develop innovative technologies applicable to low-carbon-footprint purification technologies, energy autarky wastewater treatment, mitigation of greenhouse gas emissions, and production of valuable compounds from wastes. Given substantial progress on analytical tools looking into microbial resources in natural environments, surprising discoveries on the functions of unexplored microorganisms have been reported. This symposium invites leading researchers working in the field and discusses the significance of managing and harnessing microbial communities for water reuse/recycle, sustainable society development, and global warming mitigation.

産業セッション

日時：3月17日(木)、18日(金)

◆口頭セッション

◇日本の産業を支える技術イノベーション

◇カーボンニュートラルに貢献する二次電池～開発、実用化、リサイクル、そして将来展望～

◇「化学関連産業の経営課題」～2050年の化学関連産業を考える～カーボンニュートラルを目指して～

◇炭素資源循環を目指す化学産業の挑戦

◇将来を見据えたデジタル技術活用による現場力アップの取り組み

◇忘れてはいけない単位操作～(新たな価値を創造する粉体技術)～

◆ポスターセッション

◇忘れてはいけない単位操作～(新たな価値を創造する粉体技術)～

異分野合同セッション

◇データ駆動型研究開発の先端動向

日時：3月17日(木)

実験科学、理論科学、計算科学に続く第4の科学としてデータ科学が近年急速に発展しています。データ科学によって先導されるデータ駆動型社会を早期に実現することが国際的な協力のカギとして認識されています。本シンポジウムでは、多様な観点からデータ駆動型社会に向けて先駆的な取り組みをしている講演者に講演いただき、これからの研究開発について議論します。

◇循環型社会実現のための結合・分解の精密制御に向けた動静脈分野連携・融合の促進

日時：3月18日(金)午後

材料や製品の機能や利便性を追求する一方、プラスチックなどの汎用品の廃棄に伴う環境負荷への影響、炭素繊維強化プラスチックなどの先端材料の廃棄物問題への懸念が高まって

います。従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から脱却し、持続可能な循環型社会の実現へ向け、材料の使用時から使用後の流れを意識した材料開発が求められています。2021年3月にJST-CRDSが発行した戦略プロポーザルにおいては、上記の研究開発を行う上で、材料科学、化学、物理学、計算科学、データ科学、プロセス工学、リサイクル工学、分離工学といった異なる学術的背景と研究動機を持つ動脈(材料創製)・静脈(分離・分解・リサイクル)分野の研究者が、「結合・分解の精密制御」を共通目的に連携・融合した研究体制を構築することが重要であることが指摘されています。また、同時期に文部科学省から発表された戦略目標では、結合・分解の精密制御を達成し、安定性と分解性の自在制御を可能にするサステナブル材料を開発することを目的に掲げています。翌4月には当該戦略目標下で設定されたJST戦略的創造研究推進事業CRESTおよび先駆けが発足し、10月より具体的な研究開発が開始されています。更に、内閣府マテリアル革新力強化戦略においても、バックキャスト型研究で取り組むべき技術領域例の一つとして「マテリアルの高度循環のための基盤技術」が挙げられています。このように循環型社会実現のための結合・分解の精密制御に向けて国として大きく舵をきり始めている中、動脈分野と静脈分野の研究者間の交流は鼻緒についたばかりです。そこで本シンポジウムでは、動脈分野と静脈分野のより緊密な連携・融合研究を促進することを目的に、関係する研究者が一堂に会し、互いの最新技術動向の紹介・意見交換を行います。

戦略推進センター SDGs検討委員会企画 「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行 —多様な人材が活躍する未来の化学工場—」

日時：3月17日(木)午後

化学工学会は、2019年9月APCCHE2019において「国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する宣言—人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学—」と題する札幌宣言(和訳)を発表しました。札幌宣言では、SDGsを共有ビジョンとし、EfficiencyからSufficiencyへ、すなわち効率性を追い求める社会から充足性を感じられる社会への変革を謳っています。化学工学会はこの宣言を学会内外に広め、実行に移すべく議論を重ねてきました。

持続可能な社会の実現に向けた取り組みの中でも、カーボンニュートラル対応への変革が化学産業の喫緊の課題となっています。効率のみを重視すると、例えば工場を再エネ豊富な海外へ移すという答えに行き着くかもしれません。本シンポジウムでは、地域社会との共生や、多様な人材の活躍と働きがいという充足性の観点も取り入れ、未来の化学工場の在りたい姿を議論します。講演に続けて、サブテーマごとにグループに分かれて参加型のワークショップを実施します。双方向でのインタラクティブなシンポジウムを一般公開で開催します。

男女共同参画委員会企画 「ダイバーシティフォーラム」

日時：3月17日(木)午後

化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演を行います。引き続き、「ナノマテリアルと生体機能分子の空間デザイン」をテーマに、関連研究分野で活躍する研究者・技術者による招待・依頼講演を行います。女性研究者、海外からの研究者、海外での研究経験者の講演を通して、創造的な研

究・技術開発の場を如何にしてつくるか、持続可能な社会におけるグローバル人材の育成の視点から皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

戦略推進センター CCUS研究会企画 「CCUS研究会シンポジウム ～CO₂資源化の動向と展望～」

日時：3月18日(金)

本シンポジウムでは、カーボンニュートラル実現に向けた「CO₂分離回収・資源化」において、特に、基幹物質であるメタン・メタノール等に焦点を当て、技術開発、プロジェクト、ビジネスに係る動向について概観します。更に、当該技術を実効性のある地球温暖化緩和策として普及させるための方法論や戦略を含めた議論から、早期社会実装ビジョンの共有を目指します。

「若手研究者が考える 未来の化学工学研究」

日時：3月18日(金)午後

化学工学を取り巻く環境は、様々な観点から大きく変化しつつあります。それは産業・学術的なことのみならず、研究者と学会との関わり方ということをも含むかもしれません。手法の学問である化学工学が貢献できる対象分野は益々広がると考えて間違い無いと思いますが、化学工学に新しい考え方をフィードバックすることも忘れるべきではありません。様々な分野における先進的な学術アプローチを横断的に俯瞰し、未来の化学工学研究を更なる高みへと発展させる糸口を掴めないでしょうか。本シンポジウムでは全国で活躍する若手化学工学技術者・研究者が参集し、発表者・聴講者間での双方向の意見交換を通じて未来のホットトピックスを探ります。更に、将来に向けた人脈づくりの場を提供します。

「粒子・流体プロセス部会セミナー」

日時：3月16日(水)午後

粒子・流体プロセス部会のセッションとして、部会賞受賞記念講演を行います。

参加登録に関する注意事項

◇大会会場(神戸)ご来場予定の調査について

準備の都合上、参加登録時点における、大会会場(神戸)ご来場予定をお尋ねいたします。見通しで結構ですので、ご協力をお願いします。その後予定が変更になった場合もご連絡は不要です。

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期は2022年1月31日で終了しております。第二期は2月1日～2月16日まで、第三期(含む当日)は2月18日～3月18日までwebにてお申込みいただけます(第二期終了後、第三期開始までは申込みできません)。第二期および第三期では同額になります。

なお、第三期参加登録の場合は講演プログラム集冊子や講演要旨集(お申込みいただいた方のみ)のお届けが会期後となります。是非、第一期および第二期の事前参加登録をご利用ください。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で講演要旨

集を追加登録、はできません。また、第一期でお申込みいただいたものの、支払期限日までに支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期あるいは第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期一週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内いたしますので、そちらに従って手続きをお願いいたします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認いたします。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要です。予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いいただいてからweb上で確認できるまで二週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いいたします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2022年度(2022年3月～2023年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

参加登録のキャンセルおよび参加登録費のご返金は、第一期、第二期いずれでのお申込みによらず、第二期締切日(2022年2月16日(水)23:59)まで受け付けます。参加登録webサイトにてお手続きください。第二期締切日以降、また第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金できません。予めご了承ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申し込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演要旨の事前公開について

第一期および第二期に事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会webサイトにて講演要旨を事前公開いたします。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。第三期に参加登録された方へのお知らせは、大会直前となり、事前閲覧はできません。

本大会の講演要旨公開は、2022年3月2日(水)を予定しています。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は参加登録時にお申し込みいただければ、無料で郵送いたします。第一期および第二期に事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)には、会期前にお届

ける予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を公開予定ですので、郵送を申し込まなかった方および未着の方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者：3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ、郵送いたします。第一期および第二期に事前参加登録を完了された方には、会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期に参加登録をされた方には、大会

終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3ヶ月後にwebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
京王観光(株)東京中央支店
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
(担当者:土橋(どばし), イム, 國分(こくぶん))
TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 平日10時～17時

◇その他に関するお問合せ
化学工学会 第87年会 実行委員会
E-mail: inquiry-87a@www3.scej.org

参加費

大会参加費には講演プログラム集冊子(希望者のみ;お届けします)が含まれていますが、講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	第二期(2/1～2/16)	第三期(2/18～当日)	備考
化学工学会個人会員の方			
正会員	12,000円	12,000円	不課税
シニア会員	8,000円	8,000円	
永年会員	7,000円	7,000円	
教育会員	7,000円	7,000円	
学生会員	7,000円	7,000円	
海外正会員	12,000円	12,000円	
海外連携会員	12,000円	12,000円	
海外学生会員	7,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等			
法人会員(＊1)に属する社員	15,000円	15,000円	不課税
懇話会会員	15,000円	15,000円	
部会個人賛助会員	15,000円	15,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	15,000円	15,000円	
(＊1)維持会員，特別会員，特別地区会員			
他学会の個人会員の方等			
共催学会の個人会員	15,000円	15,000円	課税税込
＊2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	12,000円	12,000円	
＊2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	7,000円	
(＊2)AIChE：米国化学工学会，CIESC：中国化工学会，DECHEMA：ドイツ化学工学バイオ学会，KICHe：韓国化学工学会，TwICHe：台湾化學工程學會(略称アルファベット順)			
上記以外の方			
会員外	30,000円	30,000円	課税税込

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人/法人賛助会員)	3,300円/個(税込・送料込)	12,100円/個(税込・送料込)
本会非会員		23,100円/個(税込・送料込)

第24回化学工学会学生発表会 概要

主催 公益社団法人化学工学会
共催 同 北海道支部、東北支部、関東支部、
東海支部、関西支部、中国四国支部、九
州支部、人材育成センター

日時 2022年3月5日(土)9:30～
会場 遠隔会議システムを用いたオンライン開催

一般発表プログラム 大会ホームページを参照
ください。

特別講演 「演題未定」(決まり次第大会ホーム
ページに掲載します)

九州大学大学院工学研究院 教授 神谷典穂 氏
COVID-19への対応 今回は遠隔会議システム
を用いたオンラインによるバーチャル会場で
の開催です。遠隔会議システムを通して発表・
聴講をしていただきます。なお、COVID-19の
今後の状況によっては内容変更や中止の可能

性があります。予めご了承ください。
オンライン開催に関する注意事項 参加者は遠
隔会議システムの環境準備(カメラ、マイクや
スピーカー、イヤホンなどの音声受信機器
を備えたパソコンまたはタブレットと、イン
ターネットへの接続)が必要になります。ま
た、発表内容は自動公衆送信による再送信と
みなされますので、他人(共同研究先を含みま
す)の著作物が含まれる場合、発表者の責任で
そのことを含めた許諾を得る必要がありま
す。なお、一切の録音・録画・撮影を禁じます。
早期参加登録 大会ホームページを参照して
お申込みください。参加費の振込に関する詳細
はホームページをご覧ください。
早期参加登録申込締切 2022年2月10日(木)
17:00まで(これを過ぎると通常参加登録料金
となります。)

参加登録費
一般 早期3,000円(通常6,000円)
大学生 早期1,000円(通常4,000円)
高専生(4年生以降) 早期1,000円(通常3,000円)
高校生および高専生(1～3年生) 無料
高校生引率者 1,000円
表彰 優秀者を表彰致します。原則全員審査対
象となります。辞退する場合はお申しくだ
さい。
問合せ・申込み先
第24回化学工学会学生発表会実行委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 公
益社団法人化学工学会 人材育成センター内
E-mail: inquiry-stu24@www3.scej.org
ホームページ: <http://www3.scej.org/meeting/stu24/>

Chemical-Energy-Car Competition 2022 大会要項

主催 公益社団法人化学工学会

化学反応を動力源として走る幅20 cm長さ40
cm以内の車を各チームで作成し、大会当日に発
表される指定の距離を指定の重さの荷物を積ん
で走行する。大会では実際の走行距離と指定さ
れた距離との近さを競う。

日時 2022年3月28日(月)13:00～17:00(参加
チーム数により変更する場合があります。)
開催場所 各チームはそれぞれの場所で走行

し、それをオンラインで繋ぐ。
参加資格 以下の2カテゴリーとする。
(a) 高校・高専本科に所属する生徒(部活動、ク
ラスなどのチーム参加で担当教員の参加を必
須とする。)
(b) 大学(大学院生含む)・高専専攻科に所属する
学生(個人参加、チーム参加の何れも可、担当
教員については参加を推奨する。)
定員 参加チーム数に制限はなし。
参加費 無料
保険 教育研究災害傷害保険ないしは同様の保

険の加入を必須とする。
申込締切 2022年2月28日(月)(詳細および参加
申込方法は化学工学会ホームページの「ケム
イーカー コンテスト」のページ <https://www.scej.org/higher/jabee.html> を参照ください。)
問合せ先 Chemical-Energy-Car 実行委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
公益社団法人化学工学会 人材育成センター内
E-mail: chemEcar@scej.org

地 域 C T



中国四国支部

第22回プラント保全研究会

主催 化学工学会中国四国支部、中国地区化学
工学懇話会

本研究会は、化学産業等で重要となるプラ
ントの設備管理、保全技術の向上のための勉強会
です。化学工学会会員・非会員を問わず、保全
設備関係または工務関係の方々をお誘い合わせ
の上、多数ご参加下さい。

日時 2022年3月4日(金)15:00～19:00
場所 広島ガーデンパレス(広島市東区光町
1-15)
JR広島駅新幹線口より徒歩5分

※新型コロナウイルス感染状況によっ
ては、オンライン開催に変更になる場合
があります。

- プログラム
1. 化学プラントにおける設備損傷事例の紹介
(株)トクヤマ 轟 智成 氏
 2. 火力発電装置用材料の腐食と防食
三菱重工(株) 福田祐治 氏
 3. 自己修復性防食コーティング
広島大学 矢吹彰広 氏
 4. 交流会 17:00～19:00

参加費(消費税込み)

	講演会	交流会
化学工学会会員、 懇話会会員	無料	2,000円
非会員	1,000円	

申込方法 参加者氏名、会員・非会員の区別、
勤務先、所属、連絡先(住所、TEL、FAX、
E-mail)を明記し、以下のURL(Microsoft
Forms)よりお申込み下さい。
<https://forms.office.com/r/fByM1Zy8qY>
非会員の方は、後日参加費の振込先をお知ら
せします。
申込締切 2月11日(金)
問合せ先 〒739-8527 広島市鏡山1-4-1
広島大学工学部化学工学講座内
中国地区化学工学懇話会事務局
TEL: 082-424-7718 FAX: 082-424-5494
E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp
URL: <https://konwakai.hiroshima-u.ac.jp/>

求人

☆九州大学 大学院工学研究院 化学工学部門 募集☆

募集人員：助教(常勤) 1名

専門分野：情報工学を活用した生物化学工学に関する分野。

応募資格：博士の学位を有し(採用時までに取得見込者を含む)、研究と教育に熱意のある方

応募締切：2022年5月31日 必着

問合せ先：〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学 大学院工学研究院 化学工学部門 三浦佳子

TEL：092-802-2749, FAX：092-802-2759

E-mail：miuray@chem-eng.kyushu-u.ac.jp